

日本語教育の研究と教育の接点を求めて

講師：坂本 正 氏

(名古屋外国語大学世界教養学部国際日本学科教授、南山大学名誉教授)

開催日時：2020年12月19日(土) 15:00 - 16:30

対 象：日本語・言語教育全般に関心のある教員および学生

事前申込不要・参加費無料・先着300名参加

開催方法：Zoom ミーティングによるオンライン講演会

PCのブラウザから下記URLをクリックするか、Zoom ミーティングアプリから、下記ID、パスワードを入力してご参加ください。

<https://sophia-ac-jp.zoom.us/j/92880872200>

ミーティングID: 928 8087 2200

パスワード: 636433

日本語教育の世界に入って、早40数年になるが、これまで日本語教育、日本語教師養成、第二言語としての日本語の習得研究、そして、日本語の教材開発に多少関わってきた。研究と教育の間で、行ったり来たりを繰り返してきたこれまでの経験を基に、研究と教育の接点について考えてみたい。これまで大学や大学院で、留学生に対する日本語教育を行いながら、多くの日本語教育者を養成してきたが、彼らに教えているようで、実は多くのことを教わっていたことに気づく。ここ、10年ほどは特に教材開発に力を入れてきた。FDということで、日本語教育に従事している方、これから日本語教育の世界に進もうと考えている方に、教育と研究の両輪を回転することの大切さを強調し、エールを送れば幸いである。

坂本 正

講演者略歴：専門は日本語教育学、第二言語習得論。米国ボストン大学大学院修了 (Ed.D.)。1986年から南山大学で31年間教壇に立ち、2017年から現職、名古屋外国語大学に。主な著書(単、共)、監修した本に『学習者の発想による日本語表現文型例文集—初級後半から中級にかけて』(凡人社)『速読用の文化エピソード：日本語中級用』(凡人社)『日本語教育学を学ぶ人のために』(世界思想社)『言語教育の新展開』(ひつじ書房)『講座・日本語教育学 第4巻 言語学習の支援』(スリーエーネットワーク)『多様化する言語習得環境とこれからの日本語教育』(スリーエーネットワーク)『どンドン使える！日本語文型トレーニング 初級』(凡人社)『どンドン使える！日本語文型トレーニング 中級』(凡人社)『日本語教育の新しい地平を開く』(ひつじ書房)『日本語教師の7つ道具シリーズ+プラス 教案の作り方編』(アルク)『日本語教育への道しるべ 第1～4巻』(凡人社)『4技能でひろがる中級日本語カルテット I、II』(the japan times) などがある。元日本語教育学会副会長、前第二言語習得研究会会長。

<ご参加にあたっての注意事項>

- ・音声はミュート、ビデオはオフにしてご参加ください。
- ・講演内容のスクリーンショット、録音、ダウンロード、撮影、コピーはしないでください。
- ・技術的な質問 (ZOOM の使い方等) や講演内容についての回答はチャット上では行いません。
- ・質疑応答時間は別途設けますので、『手を挙げる』機能を選択して、講演者または運営者からの指示をお待ちください。
- ・他の参加者様のご迷惑にならないようご発言にはご注意ください。

不適切な発言が確認された場合、運営者の判断により強制的に退場していただく場合があります。